

記録映画

16ミリ／カラー／上映時間41分

文部省選定
科学技術映画祭長官賞
日本産業映画賞
教育映画祭最優秀作品賞
日本紹介映画コンクール金賞
サラゴサ国際農業映画祭銀賞
サンタレン国際農業映画祭金賞
国際環境映画・TV番組祭
“合理的な栄養の会”賞

生きている土

■監修

京都大学名誉教授 満田 久輝

京都大学農学部教授 坂本 慶一

■顕微鏡撮影指導

農学博士 上野 三郎

京都大学農学部助教授 小林 達治

■土壌動物調査指導

農林水産省農業環境技術研究所

農学博士 中村 好男

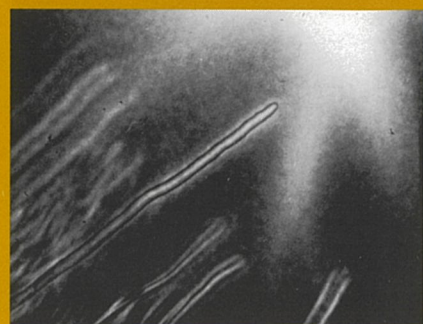
企画＝自然農法国際総合開発センター/MOAプロダクション・製作＝桜映画社



自然の土は、いい香りがする



堆肥のきりかえし作業



伸びていくカビ菌糸



自然堆肥の材料は稲わら、土手の草など



放線菌(上)とフザリウム菌の拮抗作用



団粒構造をした畑の土

記録映画 16ミリ／カラー／上映時間41分

生きている土

あらすじ

埼玉県上里町、深谷葱の産地であるこの土地に、25年間、化学肥料も農薬も全く使わない自然農法と取り組んできた須賀一男さん(49才)の一家が暮している。

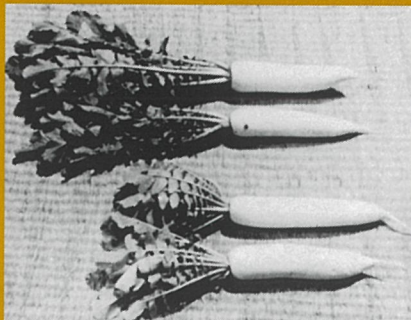
自然農法の基本は、まず健康な土をつくることである。自然の森や原野では、植物の根が網の目のように張り、落葉や枯れ草が土の中の生き物によって十分に分解されているため、土は耕さなくても柔く、植物がよく育っている。須賀さんは、土づくりのヒントをここから得た。土づくりに欠かせない自然堆肥を、須賀さんは、稲ワラや土手の草、シイタケのホダ木の廃材などを材料にして作っている。水分を十分に与え、野積みにした堆肥材料は、膨大な数の微生物や様々な小動物の働きによって発酵、分解され、

半年ほどの間に、有機質に富んだ完熟堆肥ができあがる。この堆肥を必要に応じて田畑に還元し、さらに作物によっては畑に敷草をする。これは自然の森林原野の土壌が常に落葉や枯れ草で覆れているのと同じ状態である。研究心が旺盛な須賀さんは、除草や害虫の駆除などの問題も、雑草の研究や作物の混作実験を行い、農薬や化学肥料に頼らない方法をいろいろ考え出した。

須賀さん夫婦の自然農法25年の道は決して平坦なものではなかった。しかし現在、須賀さんのつくる野菜は、自然農法をすすめる団体や消費者によって支えられ、農業経営としても確立したものとなっている。長男も後継者として一緒に働くことになった。須賀さんは今、自分の農業に大きな希望をもっている。



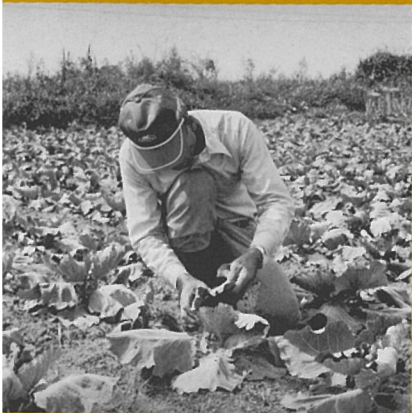
敷草後のホークによる除草



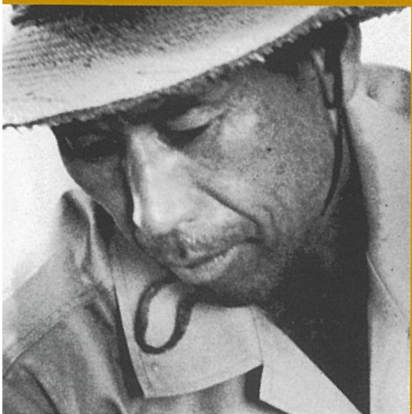
上は現代農法、下は自然農法の大根



家族全員で出荷作業



畑の状況を細かく観察するのが日課



推薦のことば

京都大学名誉教授

満田久輝氏



「人口の急増、環境の汚染、資源の枯渇」が叫ばれ・21世紀の食糧難が危惧されている今、食糧生産に関する諸問題は、人類の生存をかけた大命題であるといっても過言ではあるまい。

この映画は、健全な農産物を作出する「生きている土」とは何かを科学的に捉え、その土づくりに取り組む「自然農法」実施者の喜び励むさまを、美しい画面でわかり易く紹介している。農業者だけではなく広く一見をお勧めしたい。

京都大学農学部教授

坂本慶一氏



須賀さんが自然の法則にそった生態的な循環農法を確立していることは、まことに見事であり、単なる農業技術の領域をこえて一種の農業芸術とさえ、いっていいと思う。一切のものを工業化していこうという今日の価値体系に対する新しい価値体系として、須賀さんの自然農法の実践を高く評価したい。

科学ジャーナリスト・元「自然」編集長

岡部昭彦氏

自然農法とか有機農法とかいうことばは戦前にはなかったようだ。それは農薬と化学肥料にどっぷり漬かった現代日本農業の反語として捉えられてもいる。このフィルムに紹介されたのは貴重な一例報告であり、成功の記録である。25年にわたる手づくり農法は、かつての篤農の秘伝とは異なり、広く農村に普遍化されるものでなければならない。明るい画面からは、問題点と教訓の数々を汲みとることができるであろう。

■製作スタッフ

製作……………村山英治・村山英世
脚本／演出……………村山正実
撮影……………藤井敏貴
顕微鏡撮影……………浅野 勲
音楽……………間宮芳生
解説……………草野大悟
録音スタジオ……………東亜録音スタジオ
現像……………IMAGICA



■「生きている土」を観て—— 話し合う会を開いてみませんか！

「食」と「農」の問題は、私たちみんなの問題だと思います。農家に限らず、一家の食事を管理する主婦にとっても、働きざかりの中年にとっても、また高齢者や育ちざかりの子供にとっても、そしてこれから家庭を築いていく若い人たちにとっても逃れることのできない、健康の中心となる問題とい



えるでしょう。この問題を考えていく手がかりとして、この映画を利用していただければと思います。

そこで私たちは、この映画の販売と貸し出しを始めました。例えばこの問題に関心をもつ人々が中心になって、身近な人々を集めた小さな上映会をひらいてみたり、また組合や消費者グループなど、様々なサークルの研修会や学習会で、この映画を問題提起として上映してみたりもできると思います。また近くの公民館や教育委員会などに、この映画を観る会を企画してほしいとリクエストしてみることもできるでしょう。



映画は、今や映画館だけで観るものではなくなりつつあります。利用される方々の様々なアイデアで多角的に活用する時代だと思っています。映画を提供することを始めとして、上映会を開くについても、私たちはできるだけのお手伝いをいたします。

●お問い合わせ、お申し込みは——

株式会社 **桜映画社**

〒151 東京都渋谷区代々木1-57-1
TEL 03(3320)6311 FAX 03(3320)7666

貸し出し価格	16%	¥20,000
販売価格	16%	¥240,000
VTR		¥50,000
VTR (一般価格)		25,000円